富士市教育委員会会議　２月	定　例　会 臨　時　会	会　議　録 （令和５年）

開催日	会議場
令和５年　２月２２日　水曜日 開　会　　１３時３０分 閉　会　　１４時２５分	富士市教育プラザ　１階 会議室１～３

出席委員の氏名

教　育　長	森　田　嘉　幸	委　　員	松　田　靖　子
教育長職務代理者	和久田　惠　子	委　　員	塩　谷　知　一
委　　員	篠　原　　均		

出席職員等の氏名

教育次長	江　村　輝　彦	青少年相談センター所長	川　口　壽　彦
教育総務課長	味　岡　俊　雄	博物館長	植　松　良　夫
学校教育課長	齋　藤　文　徳	教育総務課調整主幹	小長谷　　聡
学務課長	榎　　俊　英	教育総務課参事補	吉　村　直　也
社会教育課長	吉　田　和　洋	教育総務課主幹	遠　藤　綱　輝
文化財課	久保田　伸　彦	教育総務課指導主事	米　田　一　也
中央図書館長	大　川　英　子	教育総務課指導主事	山　田　英　雄
富士市立高校事務長	青　木　　洋		傍聴人　なし
教育研修・特別支援教育ｾﾝﾀｰ所長	川　崎　里　恵		

開会

会議録の承認

教育次長の報告要旨

教育次長	○市議会２月定例会について ・市議会２月定例会が２月 14 日から３月 22 日まで開会している。 ・施政方針に関する質問は３月３日及び６日、一般質問は６日から９日を予定している。 ・産業教育委員会は３月 13 日、14 日に開催される予定である。その際、本日の報告事項の令和５年度新年度予算案について審議される。

学務課長の報告要旨

学務課長	○富士市立岳陽中学校での火災について ・令和５年２月３日金曜日、午前８時 57 分、岳陽中学校から消防本部に通報があり、９時 40 分に鎮火した。 ・出火した給食室は校舎の１階にあり、焼損面積は、給食室の床面積 261 ㎡のうち、焼損面積 174.5 ㎡。 ・生徒、教職員は全員、グラウンド北側に避難した。午前 11 時頃、生徒は下校した。 ・負傷による搬送者数は 21 人、そのうち生徒は 14 人で、全員体調不良である。職員は７人、うち２人は軽いやけど、５人は体調不良だった。

	病院に全員搬送されたが、いずれも軽症で当日帰宅した。また、帰宅後、体調不良となり受診した生徒の報告が２件、８日に受診した生徒の報告が１件あった。 ・学校給食は、２月６日月曜日から弁当を持参していただき、２月 16 日から牛乳と主食、仕出しのおかずの給食を提供している。 ・火災以降の教育活動及び生徒、保護者への対応について、学校の教育活動は、２月６日月曜日から通常通り授業を行っている。保護者説明会は２月７日火曜日 19 時から開催し、学校長から説明と謝罪をした。 ・再発防止策について。２月６日月曜日、校長会で森田教育長から事故原因の説明と再発防止に向けた注意喚起を行った。２月７日火曜日、市内小中学校及び富士川学校給食センターに向け、教育委員会安全衛生委員会からの事務連絡により、校務労働災害に対する注意喚起を行った。２月 10 日金曜日、教育委員会安全衛生委員会を開催し、事故原因の分析と再発防止に向けた対策等について協議を行った。２月 15 日水曜日、主任調理員、栄養士を対象にした、労働安全研修を実施し、再発防止策を周知し、その他調理員については主任調理員を通じて周知し、今後改めて研修等を行い、再発防止策を周知していく。
議題（動議）及び議事の大要	
議第６号 （説明） (質問･意見等) （回答）

(質問･意見等)	→通信制高校に通う生徒が今後増加する可能性あると思うが、通信制高校に通う生徒の把握は続けていくのか。通信制高校に通う人数は把握できるのか。
(回答)	→そもそも把握はしていない。義務教育外であり、その把握は困難と考えている。
(質問･意見等)	→学務課に関する事務局処理規則の改正について、今回、給食費の公会計化に関して、１つ事務事業を追加するとのことだが、どのようなことを追加するのか教えてほしい。
(回答)	→現在、学校で行っている給食費に関する業務を全て学務課で一元化してやる。これにより学校の負担軽減につなげる。
(質問･意見等)	→それでは学務課の仕事量が、来年度以降、増加すると思われるが、今回、担当の名称を改めるとともに人員体制も補強するのか。
(回答)	→指摘のとおり、公会計化に伴い業務量が増加するため、令和４年度と令和５年度に人員を増員し、体制を強化して業務を進めていく。
(質問･意見等)	→業務の量や、管理の大変さを考えると、担当者の方々にはかなり大変な思いをさせてしまうと思う。人員も補強されるということではあるが、全学校についての業務を確実に、正確に、効率的に進めていただきたい。ちなみに効率的にという言葉にどういう意味を込めたのか。
(回答)	→今回、業務を集約するに当たり、給食の徴収管理するシステムを導入する。今までは各学校が独自に様々な方法で徴収管理していたが、システムを導入し一括で管理するため効率的という言葉を使用している。
(議決)	→承認
報第２号	○令和５年度教育委員会所管当初予算額の内示について
(説明)	・教育総務課長
(質問･意見等)	→令和５年度の教育費予算額全体は135億3,807万円とある。教育委員会関係の歳出は人件費を含めて92億3,872万1,000円である。差額が43億円程度であるが、その内訳は何か。
(回答)	→教育委員会の所管以外に幼稚園や文化スポーツの関係も教育費で予算が計上されている。そのため差が生じている。
(質問･意見等)	→文化スポーツや幼稚園の関係で43億、予算の３分の１程度が割り当てられているのか。
(回答)	→文化スポーツの方で総合体育館の工事があり、額が増えている。
(質問･意見等)	→小学校就学援助事業費と小学校特別支援学級就学奨励事業費があるが、対象は何人で、支給の基準について教えてほしい。また去年からの対象者の人数の増減を教えてほしい。同じ点を中学校について

	もわかる範囲内で教えてほしい。
（回答）	→小学校就学援助事業費の対象の人数は、760人程度を予定している。人数の増減については、コロナ禍の影響もあり、増加傾向にあると思う。小学校特別支援学級就学奨励事業費については230人程度を予定している。中学校では就学援助事業費の対象の人数は510人程度、それから特別支援学級就学奨励事業費の対象の人数は110人程度を予定している。
(質問･意見等)	→予算の数字と主な事業の説明があったが、費目の項目と関連付けしていると見やすいと思う。どこが増減しているのか紐づけしてあると見やすいのでお願いしたい。
（回答）	→今後、資料を作るときは費目を合わせて併記するようにする。次回から改善していく。
(質問･意見等)	→特別支援教育指導費は大きく増額しているが、何か要因があるのか。
（回答）	→令和５年度、通級指導教室や自閉・情緒学級が新設されるため、それに伴う備品や教育環境の整備等により増額されている。
（了承）	→了承
各課等の報告・予定事項	
閉会	